

名古屋大学模擬授業に参加しました

- ・実施日 令和7年12月6日（土）
- ・実施場所 名古屋大学 教養教育院1階C15

- ・テーマ

①『大学進学のため、高校時代に「どのように学ぶ」べきか』

宇宙地球環境研究所 年代測定研究部 小田寛貴先生

②『私たちを動かす感情のメカニズム』

大学院情報学研究科 心理・認知科学専攻 大平英樹先生（本校S55.3卒）

希望者の生徒35名で名古屋大学に行き、普段味わうことのできない専門的な2つの授業を体験しました。午前は宇宙地球環境研究所 年代測定研究部の小田寛貴先生に『大学進学のため、高校時代に「どのように学ぶ」べきか』というテーマで、午後は大学院情報学研究科 心理・認知科学専攻の大平英樹先生（本校S55.3卒）に『私たちを動かす感情のしくみ』というテーマで講義をしていただきました。生徒たちは皆、真剣に講義を受け、それぞれが講義の内容や進路、勉強方法などについて様々に考えていました。講義後には個別に質問に行く姿も多く見られ、有意義な見学会になりました。

【生徒の感想】

・いろいろなことに興味をもつこと、基礎知識はしっかりと頭に入れることができると分かりました。これらのこととは高校生からできる、高校生のときしかできないことなので、これからに活かしていきたいです。大学では、多角的に研究をしたり、新しく考えることが多くありますが、それができるのは、基礎知識を組み合わせたり、今までのことから少しでも飛躍させて新しいことを考えていくので、やはり高校の今の授業、知識は大切だと思いました。

・小田先生の授業では、研究内容を通して大学での研究には文系理系に関係なく広く深い基礎知識が必要になってくると分かり、普段から担任の先生が話している教科を絞ってはいけないということと結びつけてその大切さを実感しました。毎日の授業を大切に入試で必要な教科にも真剣に向き合っていきたいと思います。

・大平先生の授業では、「やる気の上げ方」の方法を学んで、リスト化して簡単なものからやっていくというやり方を実践してみたいなと思いました。心理学には少し興味があったのですが、詳しくは分かっておらず、また、「心理」という名前がつく学科やコースが沢山あってあまり決めきれていたのですが、今日の授業や質問を通して、詳しく知ることが出来ましたし、自分の進路を見直すきっかけにもなれたかなと思います。

